



# 井奥まさきの ニュース 市政報告NEWS

2006・1

新年号  
(通算44号)

このNEWSは、みどり・市民派をめざす高砂市議会議員井奥まさきによる市政レポートです。

## 2006 年は市議選、市長選の年です 高砂再生を目指します

みなさん、本年もよろしくお願いたします。9月には市議会議員選挙、市長選挙があります。昨年は職員の不祥事関連事件が3件(1件は逮捕)も起きるとい信じられない年でした。

田村市長8年間の失政による構造腐敗が進んでいます。

9月の選挙は地縁、血縁のしがらみに縛られた時代遅れの選挙ではなく、政策中心の近代的な選挙にしたいものです。

そのために仲間達と高砂マニフェストを考えていきます。「安くて良質な水道」「活発な議論」など高砂の良い伝統を大切にしながら、現在の情勢に合った統一感ある政策体系。今

高砂市議 井奥まさき

の「先送り」「理念なし」で混乱している場当たり政治と違うビジョンで高砂再生を目指します。

いわば「もう一つの高砂」を描く作業をこの一年でみなさんと一緒にやっていきたい...それが今年の抱負です。

### 12月議会報告

## 形成外科新設 委員会で否決も本会議で逆転可決 病院経営の根本を間違えている！



内科/外科強化で赤字減らしが先決なのに

9月議会で形成外科新設が提案されました。私と仲間「神戸大学主導の決定プロセス/かんじんの外科と内科の建て直し先決/内科はRI導入ですすでに数億円の投資失敗」という点を批判しました。

形成外科はどちらかという他の診療科の補助的な仕事です。毎年7億円以上も市本

体が補助をして、なおかつ赤字が続いている市民病院には新設する余裕はありません。

赤字の原因は、明らかです。患者が行きたいと思う優秀な医師確保ができていないからです。例えば内科だけでも15年【2003】度から16年【2004】度1年間で1億円も収益が減少しています。医師数は定数に足りていません。(形成外科での5年間の収益予想は同じく1億円)本

来は本業の内科や外科を強化して赤字を減らすべき。それをほき違えた提案でした。

議会の「拒否権」を行使すべき政治で一番強い力は「拒否権」です。行政が無謀な活動をした時に止められるのは議会だけです。しかし、専門の委員会で否決という決断をしたにも関わらず、本会議では可決。非常に残念です。(賛否結果は下記参照)

## 増額の特殊勤務手当 年収700万円に必要なし

前号で書いた「今どき増額」の特殊勤務手当を支給されている清掃関連職員の実態が判明しました。右の表の対象人数はわずか61名。職員間の公平も疑われます。本給の414万円は民間感覚から言っても妥当なものですから、複雑化した

## 実態判明 現状維持の修正案も否決

手当の改革が必要です。それなのに、田村市長は自身が出席せず、交渉も助役に任せて最終段階もさっさと帰宅。

有志が「せめて現状維持」との日額1000円の修正案を提出。議論しましたが、これすら否決されました。

### 清掃業務関連職員

平均給料と手当(かっこ内は最高)
給料 414万円(507万円)
手当総額 364万円(428万円)
総額 年779万円(936万円)
特殊勤務手当は全体で年78万円(123万円)を52万円(68万円)に改訂

### 井奥の提言 ▶ こうすべき

病院経営はコンサルタント導入を手当は既得権ではなく、市民感覚で

一般質問で「子ども施策に力を入れてきた高砂市の伝統に沿った施策を」を提言。ファミリーサポート事業などは他市より遅れています。

# 指定管理者の応募団体の知恵に公務員は学ぶべき 民間の知恵に負けてませんか？

官から地域へ

「私は小泉さんの「官から民へ」は嫌いです。結局は「行政の仕事の一部の大企業に請け負わせて儲けさせる」という魂胆がミエミエだからです。

また大企業では「社員のための会社」から「株主のための会社」へ考えが変わってきており、「労働者を使い捨てにして巨大な利益を限られた人で分配する」ようになってきています。これはオカシイ。

ただ、いつも書いているように、公務員の労働も時代に合っていない部分が多くあります。ですので、私は「官から地域へ」が理想ではないかと思えます。NPOや地域団体、地域の中小企業が行政から

「公」の仕事を請け負うことで安く、質の高いサービスを提供し、さらに地域雇用や活力にもつなげる...というものです。

応募団体の面白い提案

12月議会に「指定管理者」の業者選定が提案されました。わずか3つの公募、残りは今までどおりの外郭団体という新鮮味のない選定でした。しかし、市民プールなど3つの公募に応募して選定された業者の発想は新鮮でした。私は「本来は公務員がこの発想と努力をすべき」と指摘しました。そして、「選定業者はこの提案が絵に描いた餅にならないように」とそして「安上がりの労働者の使い捨てにならないように」と注文をつけました。

職員組合も「直営堅持」や「正規職員を増員しろ」「手当増額」ばかりの原則要求だけ、そして内部の腐敗には知らぬふりということが続けていたら、自分たち将来の職場が無くなってしまふことに気づくべきです。

民間導入を良い刺激材料に自己革新をはかるべきだと思えます。

企画書より(主に市民プールより)

- ・利用者数3万人維持、3年間無事故、利用者満足度向上
- ・トイレさわやかプロジェクト
- ・挨拶向上プロジェクト
- ・人員の配置は「実務を行う者」のみとして無駄な配置せず
- ・1人の職員が複数の業務の兼務を可能とする

その他、回数券やタオルやゴーグルなどの無料レンタル、飲食可能エリアの拡大を提案。(今後行政と調整)

民間では当たり前だけど、行政にはできていないことばかり。

## 学校は震度5の地震に耐えられるの？ 米田小など当初計画からも削減 すべて先送り

姉歯設計士問題ですっかり有名になった「耐震」問題。高砂市の学校施設で見直し基準値以下のものがあることが判明しました(米田小の一部では基準値の半分以下)

しかし、中期財政からは学校の耐震調査、補強計画はの

きなみ延期。平成22年(2010)まで5年間以上も耐震補強をしないというのです。新築のマンションですら「引っ越し」をしなくてはいけない状況です。子どもたちの一番長い時間過ごす場所を放置しておくことはできません。

中期財政計画(2005年3月策定)から

- 12月段階で削られた事業
- 荒井幼稚園改築事業
- 米田小学校耐震補強事業
- 他に老朽化が進み耐震・改築が切迫しているのに計画にもない施設
- 高砂幼、高砂小、宝殿中、荒井中

教育施設だけは例外として全額借金してでも未来の子どもたちへの投資はすべきだと思いますが。

## 3月議会に向けて 来年度より介護保険が大きく変更 保険も値上げ

平成18年度(2006)は福祉施策が大きく変更になる節目の年になりそうです。障がい者自立支援法が施行され、介護保険も大きく変更されます。

私の所属する委員会で介護

保険に関して説明がありました。今回の改正で大きなことは「予防重視型」であること。そして、今まで給付対象であった人もはずれる可能性があります。

「包括支援センター」設立など市町村の役割も大きくなります。年額保険料も10%アップの4000円になりそうです。

3月議会に向けて一つの焦点になりそうです。

イベント情報 まちづくり協議会は、毎月第三土曜日午後2時~中央公民館を定例会とします  
まちづくり連続市政勉強会 1月21日(土) テーマ 公務員の手当、市民病院の経営